



大規模改修を控える保健福祉センター

第2回定例会

令和8年第2回定例会は、6月11日に開会し、「令和8年度門真市一般会計補正予算(第3号)」など、市長提出議案22件、議員提出議案2件について慎重に審議した結果、議員提出議案第3号「門真市議会議員定数条例の一部改正について」を除き、いずれも原案のとおり可決及び同意し、6月26日に閉会しました。

保健福祉センターの大規模改修や施設統合等の検討を含む補正予算など23議案を可決

8年度補正予算(1) (一般会計補正予算(第3号))

(議決結果) 全員異議なく可決
(民生水道常任委員会審査概要)

保健福祉センター大規模改修へ 施設の統合で利便性を向上

問 大規模改修に向けた具体の検討内容は。

答 老人福祉センターとの施設の統合や障がい者福祉センターに医療的ケア児者がショートステイできる機能の整備を検討する。

問 老人福祉センターとの施設の統合を検討する目的は。

答 公共施設総量の縮減を計画的に進め、将来的な予算の縮減・平準化や施設配置の最適化を図り、再編後の利便性や利用率の向上を目指すしていく。

問 障がい者福祉センターの移転を取りやめた理由は。

答 生涯学習新施設(旧砂子小学校)のオープンの遅れに伴い、移転予定先であった南部市民セ

ンターの建物はそのまま活用せざるを得なくなり、十分な広さの確保ができなくなった。
そのため、障がい者福祉センターは保健福祉センターに残し、医療的ケア児者がショートステイできる機能の整備について検討する方針へ転換した。

問 改修工事に向けた基本計画で調査・検討する内容は。

答 通常の業務を行いながら大規模改修工事ができる方法や障がい者福祉センターにショートステイできる機能の整備が実現可能かの検討を予定する。
加えて、施設の統合等により必要となる諸室や設備の把握、概算工事費の算出、スケジュールの検討等も予定する。

問 基本計画策定までのスケジュールは。

答 入札による業者の選定後、契約を行い、9年8月末までの計画策定を予定する。

(文教こども常任委員会審査概要)

安全・安心の保育環境へ 医療的ケア児の受入れを支援

問 民間園で医療的ケア児の受入れが実現した経緯は。

答 8年4月の入園手続において、医療的ケアが必要な児童の申込

もくじ

- 議案審議等の概要……………1～3ページ
 - ・一般会計補正予算
 - ・動産の取得、介護保険特会補正予算、人事案件など
 - ・意見書、議員定数条例の一部改正など
- 一般質問・所管質問……………3～7ページ
- 議決結果、議会活動日誌……………8ページ

問 具体のサポート内容は。

答 市から医療的ケア児の受入れに必要な看護師等の人件費等に対し、援助を行う。

また、入園前に保護者や関係機関等から児童の情報を聞き取るほか、市・保護者・民間園の三者で面談を行うなど、必要なケアの情報を共有している。

民間園側は看護師による投薬管理等や保育補助者による園生活のサポート体制等を組み、安全・安心な保育環境を整えている。



避難所環境の改善に向け
循環式手洗い装置を購入

取得する動産 循環式手洗い装置43台
取得価額 3925万9000円
取得の相手方 大阪市東住吉区杭全
七丁目4番21号
株式会社マトイ防災

(議決結果) 全員異議なく可決
(総務建設常任委員会審査概要)

問 循環式手洗い装置を購入した
経緯と目的は。

答 国の補助金を活用し、避難所
環境の衛生面を改善するために
購入した。

問 仕様条件をアクアウォッシュ
とした理由は。

答 コンパクトで避難所に持ち運
びがしやすく、100%循環式
で水を効率的に使用できる。ま
た、浄水・殺菌工程が優れ、他
市防災訓練での試飲実績や本市
敷地内でのデモ体験を経て、災
害時の衛生面改善に適している
製品と判断した。

問 製品の概要は。

答 使用可能な水は、水道水やプ
ール水、河川水等の淡水で、浄
水工程が全5工程ある。
また、貯水タンクが約20リッ
トルで、毎分1・5から2リッ
トル程度の給水能力があり、手
洗い後の水を浄水する100%

循環式の手洗い装置である。

問 設置台数と設置場所は。

答 市内の全指定避難所20箇所に
各2台、広域避難地の弁天池公
園に3台の合計43台である。

問 使用想定場面は。

答 非常時は、避難所体育館で感
染症を予防するための手洗い用
としての使用を予定する。

問 手洗い以外での使用は。

答 洗顔や食器洗いなどにも使用
できるが、洗剤等を使用するこ
とでフィルターなどの交換頻度
が早まることとなる。

よって今後避難所の状況に応
じた運用を検討していく。

問 断水時の対応は。

答 学校の状況により、プール水
や本市備蓄水の使用を想定する。



手洗い後の水を浄水する100%循環式手洗い装置

問 平常時の使用方法は。

答 総合防災訓練の展示・体験コ
ーナーにおいて、市民が実際に
触れる機会を設ける。
また、地域の防災訓練等での
使用も検討していく。

問 保管場所とメンテナンスの実
施方法は。

答 NTT西日本門真ビル（向島
町）防災備蓄倉庫にて保管し、
メンテナンスは不要である。

非常時の電力を確保
発電機を市役所本館にも設置

門真市役所庁舎本館非常用発電
機設置工事請負契約の一部変更に
ついては、8年3月23日門真市議
会第1回定例会において議決のあ
った門真市役所庁舎本館非常用発
電機設置工事請負契約について、
契約金額「1億6212万240
0円」を「1億6293万200
0円」に改めるものです。

(議決結果) 全員異議なく可決

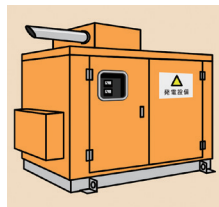
(総務建設常任委員会審査概要)

問 庁舎別館に加え、本館にも非
常用発電機を設置する理由は。

答 庁舎エリアの整備に伴い、現
在、別館にある発電機を撤去す
る必要があり、別館解体までに
災害対策本部を本館2階へ移転
する必要があるため、新たな発
電機を本館に設置する。

問 設置予定の発電機の機能は。

答 現存の発電機の燃料タンク（
5000リットル）から容量を
20%増量することで、稼働可能
時間が約90時
間から約11
0時間へと伸
び、機能力が
強化される。



8年度補正予算(2)

(介保代会補正予算(第1号))

(議決結果) 全員異議なく可決

(民生水道常任委員会審査概要)

収入や状況に合わせた
介護施設等の利用者負担へ

問 特定入居者介護サービス費の
見直しの内容は。

答 介護保険施設等の食費や居住
費に対して支給される同サービ
ス費については、負担能力に応
じた負担を図る観点から、利用
者の所得基準、食費、居住費の
負担限度額が8月より見直され
る。それに伴いシステムを改修
していく。

問 同施設等の利用者の所得基準
見直しの内容は。

答 利用者負担段階（第2・第3
段階）算定に係る合計所得金額
が80万9000円から82万65

00円に引き上げられる。

問 食費の負担限度額見直しの内
容は。

答 利用者負担段階（第1～3段
階）の基準費用額は日額100
円の増加、負担限度額は第3段
階①が日額30円、第3段階②が
日額60円にそれぞれ増額となる。

問 居住費の負担限度額見直しの
内容は。

答 第3段階②の老健、医療院等
で室料を徴収しない場合以外が
日額100円の増額となる。



みんなで支え合うやさしい社会へ

人事案件に同意

〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

木本健司

本件は同委員の任期が8年7月
27日をもって満了することに伴い、
提案されたもので、選任に同意し
ました。

〈公平委員会委員の選任〉

中道秀樹

本件は同委員の任期が8年8月
25日をもって満了することに伴い、
提案されたもので、選任に同意し
ました。

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

奥田賢二

本件は前任委員の任期が8年12
月31日をもって満了することに伴
い、提案されたもので、推薦に同
意しました。

〈農業委員会委員の任命〉

木原早智子

土井清孝

西川敬治

西村覚

寺裏和正

北次均

柴田照夫

中西正憲

橋詰美智子

以上9件は前任委員の任期が8
年7月19日をもって満了すること
に伴い、提案されたもので、いず
れも任命に同意しました。

永年勤続の議員へ表彰状を伝達

去る5月27日に開催された第102回全国市議会議長会定期総会において永年勤続議員の表彰が行われ、本市議会からは
(35年表彰) 今田 哲哉 議員
(15年表彰) 大倉 基文 議員
が表彰の荣誉に浴されました。
本市議会では6月11日の定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達を行い、満場の拍手でその荣誉をたたえ、また宮本市長からお祝いの言葉がありました。
これに対し、受賞者を代表して今田議員から謝辞が述べられました。



表彰状伝達の様子

議員定数削減の条例改正 賛成少数で否決

本市の人口ビジョンの将来展望及び財政状況を考慮し、市議会自らも一層改革を進め、市民から負託された議会人として、その負託に応えるべく、議員定数20人を2人削減し、18人とする**門真市議会議員定数条例の一部改正**についての議案が7人の議員から提出されました。
採決に当たっては、反対・賛成それぞれの立場から討論がありました。結果、賛成少数で否決しました。

政務活動費 収支報告書等の公開

本市議会議員の7年度政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを8年7月から公開しています。
閲覧される際に申込みなどの手続は必要ありません。

閲覧場所

情報コーナー（新別館1階）

閲覧時間

月曜日～金曜日（閉庁日は除く）
午前9時～午後5時30分

※市議会ホームページでは、収支報告書の写しを閲覧することができます。



意見書を可決

以下の意見書を可決し、その内容の実現を求めるため、政府関係機関へ送付しました。

有権者の知る権利を阻害する選挙妨害への対応強化を求める意見書

選挙は、国民主権の根幹を成す民主主義の基盤であり、その自由で公正な選挙は、守らなければならないものである。とりわけ、有権者が候補者の訴えや政策に接し、自らの判断で投票行動を選択するための「知る権利」は自由で公正な選挙を支える不可欠の要素である。

しかし、近年の選挙において、候補者の演説等に対し、継続的に罵声を浴びせるなど、候補者の訴えをかき消す行為が確認されている。

これらの行為は、単なる意見表明の域を明らかに超え、演説を聴こうとする有権者の知る権利を直接的に侵害するとともに、候補者の選挙運動を妨害するものである。

表現の自由は、憲法第21条により最大限尊重されるべき重要な権利であるが、知る権利についても表現の自由により同様に保障されているといえる。

また、有権者が候補者の訴えに接する機会を奪い、自由な意思形成を妨げる行為は、決して看過されてはならないものである。

よって政府においては、有権者の知る権利と自由で公正な選挙を断固として守るため、表現行為と選挙妨害の線引きを明確にし、有権者及び候補者双方の権利が確実に守られる実効的な対応が、国及び関係機関において速やかに講じられるよう、下記の事項について強く要望する。

記

- 1 表現行為と選挙妨害の区別を明確化する指針の整備
選挙の自由及び公正を確保する観点から、表現行為と選挙妨害との線引きを具体的に整理し、速やかに国として明確な指針を策定すること。
- 2 整備された指針の着実な運用について
表現の自由を尊重しつつ、候補者及び有権者双方の権利が等しく守られる環境を確保するため、整備された指針を着実に運用すること。

意見書とは？

地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関する事件に関し、団体の議会の意思を意見としてまとめた文書のことであり、国会または関係行政庁に提出することができるものだ。



本 会 議



深井 弘晃
(真政会)

KADOMADOと 周辺のまちづくりについて

問 クラフトラボ・テックラボと貸室の利用状況は。

答 クラフトラボ（対象5～10歳）は、工作等のものづくりを楽しめる場として開館1か月で1374人が利用し、テックラボ（対象10～18歳）はデジタル機器を活用した学びの場として6月から本格実施し、182人が利用した。
また、貸室は107団体が登録し、大学生による工作・実験教室等、多様な活動が行われている。

今後の施設運営の方向性は。

答 末永く愛されるように、地域とのつながりを深めシビックプライドの醸成、市内外からの来訪者の増加につなげていく。

問 KADOMADO前交流広場の整備スケジュールは。

答 交流広場西側で建設中のマンション完成後となる11年4月以降の着工を予定する。

問 交流広場に期待する効果は。

答 KADOMADOと連動した空間や駅前のポテンシャルを生かした新たな憩いの場として、市内外からの来訪者を呼び込み、にぎわいや人のつながりを創出するほか、周辺エリアへの民間活力の誘導につなげていく。



学びを通じた新たな出会いが生まれるコミュニティガーデン

本 会 議

総務建設

民生水道

文教こども

一般質問・ 所管質問

6月26日の本会議において、13名の議員が市政に対する一般質問を行いました。

また、6月15日、16日、17日の各常任委員会において、12名の議員が所管事項に対する質問を行いました。

本会議または各常任委員会で行われた主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。（議席順）

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第2回定例会の会議録は8月下旬に掲載する予定です。

本 会 議



大西 康弘
(真政会)

障がい者福祉センターに医療的ケア児者が利用できる短期入所の整備を検討することについて

問 保健福祉センターの複合化に合わせて医療的ケア児者が利用できる短期入所の整備の検討が可能になった背景や条件の変化について、市の見解は。

答 大規模改修として空調をはじめとした既存設備の改修等に取り



組むほか、複合化による新たな諸室や設備の整備等について確認することから、短期入所機能の整備に当たって懸案となっていた事項について検討することが可能となったものである。

医療的ケア児保育支援事業について

問 民間園において、8年度中に支援体制の維持が困難となった場合、市として公立園で補完できる体制を有しているのか、今後どのように受入れ体制を確保するのか。

答 公立園で受け入れる予算を措置していることから、引き続き民間園をはじめとした関係機関と情報連携を密にしていくことで、安全・安心に子どもが預けられる受入れ体制の確保に努めていく。

本 会 議



片平 恭子
(大阪維新の会)

ふるさと門真まつりについて

問 ふるさと門真まつりへの寄附者の意向と寄附募集の経緯は。

答 寄附金は、まつりの復活に際し、応援したいという寄附者の意向を受けたものであり、継続性の観点から財源確保策として、ふるさと納税での寄附を募っていた。



寄附金残高枯渇後の財源は。

答 現在の同寄附金は、特定の事業を指定する方式ではなく、施策区分の中で活用する仕組みであり、各年度の予算編成の中で具体的に

水桜学園について

問 水桜学園が掲げる「教育からまちを変える」の理念とは。

答 子どもたちと地域との縦と横のつながりを育むとともに、小中一貫教育の充実等、特色ある教育活動を展開している。

これらの取組が市の魅力向上につながり、人口流入や定住促進等に寄与するなど、教育とまちづくりが相互に好循環を生み出すことを目指している。

購入する備品の教育効果は。

答 クッションベンチなどを配置し、子どもたちがリラックスした形で、多様な学びに対応できるメリットがある。

本 会 議



坂本 拓哉
(大阪維新の会)

府道深野南寺方大阪線の歩道整備について

問 府道深野南寺方大阪線の歩道整備については、府が策定の「大阪府都市整備中期計画」によると、歩道整備事業の実施は、用地取得に関わる地元自治体との協力状況等を勘案した上で事業化を検討することとされており、事業化には府と市の協力が不可欠である。

6年5月に府に地元自治会の役員と意見書を提出し、また同年6月の府議会では大阪維新の会の府議が当該区間の歩道整備について

質疑を行った。

その後、府と市との意見交換会や府による当該区間の交通実態調査等、地元や市の要望に府が応える形で事業化への取組が進んでいるが、これまでの協議内容は。

答 府の歩道整備の考え方を踏まえ、事業化に向けた課題整理や事業実施に際して、本市が用地取得に関わる業務を担うなど、役割分担等の協議を行っており、今後も事業化に向けた協議の継続を確認している。

今後の取組は。

答 8年度は府と歩道の整備形態や事業スケジュールなどを検討する予定である。早期実現に向け、必要に応じて地元の意見も聴きながら、取り組んでいく。



本 会 議



池田 治子
(真政会)

市債残高について

問 市民一人当たりの市債残高は、約48万7000円である。類似団体平均との比較は。

答 約29万5000円であり、本市はこれを上回る状況である。

問 10年後の市民一人当たりの市債残高の見込みは。

答 約89万9000円である。

中長期財政見通しの公表延期について

問 策定が遅れている理由は、基金取崩し額が総額約32億円、

そのうち財政調整基金取崩し額が、5億8000万円となり、これらを反映するため時間を要している。

問 公表の延期についての認識は。

答 予断を許さない状況で事業実施に当たり現在行っている精査が必要不可欠である。

砂子水路桜並木の保存継承について

問 今後の市の方針は。

答 砂子水路桜並木保存会や自治会等と意見交換を行いながら、桜並木の景観整備について検討する。

府道深野南寺方大阪線の拡幅について

問 8年度の取組は。

答 大阪府枚方土木事務所と事業スケジュール等について検討する。

本 会 議



寺西 敬子
(公明党)

ペット防災ガイドラインの策定について

問 避難行動の遅れや避難所での混乱を防ぐために、市独自の門真市ペット防災ガイドラインを策定し、実効性のある避難所運営マニュアルへと落とし込むことを強く要望するが、市の認識は。

答 災害時にはペットと共に安全な場所へ避難する同行避難が重要であると認識している。

現在、国のガイドラインが改定作業中であり、その内容を踏まえ、



避難所の受入れ方法や関係機関との連携について検討を進める。

シチズンシップ教育の推進について

問 「課題解決型」のシチズンシップ教育について、教育的効果への認識は。

答 児童・生徒が学校生活や地域社会に存在する身近な課題を自分事として捉え、対話や協働を通じて解決策を考える経験が、社会参画の基礎となる力を育む上で極めて重要であると認識している。

問 本市の地域課題をテーマにした授業を実施する際に、中学生議会と運動させていく考えは。

答 実際の議場で自らの考えを表現し社会に働きかける経験となることから、意義があると考えている。

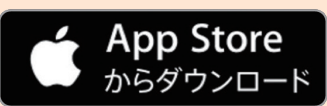
にほんごがわからないひとへ

カタログ ポケット
Catalog Pocket

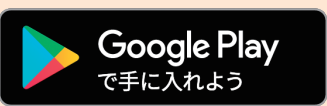


10言語対応の「議会だより」をデジタルブックで配信しています。
You can read "kadoma council News" in 10 languages by the application.

■ iOS版



■ Android版



本会議



坂本大次郎
(公明党)

火災における緊急避難先の確保について

問 被災直後の緊急一時避難先は、自治会館の開放や市営住宅の活用により確保してきた。
答 緊急一時避難先として民間宿泊施設を活用するのはどうか。
答 被災者支援の選択肢の一つとして捉え、他市の取組事例等も参考に調査研究していく。

公共施設と小・中学校の給水環境について

問 公共施設における給水スポット

本会議



池田美佐子
(公明党)

ガラスケ号の運行と利便性の向上について

問 利用ルートの南伸(東江端・江端方面まで)を要望する声を聞くが、ルート見直しの考えは。
答 路線バスとの割引乗り継ぎで、一定の利便性は確保されている。
問 車両定員オーバー時の対応は。
答 到着まで時間がかかるが、予備車両が現地向かうこととなる。
問 車両バリアフリー化(乗降用ステップの装備)に向けた取組は。
答 運行事業者と複数回協議を重ねてきたが、取付け事業者がいな

トの設置状況は。

答 市役所本館・別館、リサイクルプラザ、保健福祉センター、泉町浄水場の5か所に設置している。
問 7年度の利用実績等は。
答 500ミリリットルのペットボトルの換算で5万4122本の削減となり、CO2の削減効果は約6440キログラムであった。
問 小・中学校における児童・生徒の給水環境の現状は。
答 中学校4校に噴水型の冷水機を設置している。
問 小・中学校にボトル給水型冷水機を設置する考えは。
答 熱中症対策や衛生的な水分補給の観点から一定有用であると認識している。



く、現時点では実装できていない。今後も引き続き協議していく。
防犯灯の維持管理と安全なまちづくりについて

問 自治会解散や加入率低下により、地域の安全確保を不安視する。防犯灯の維持管理における負担の公平性について、市の見解は。
答 一部住民への負担の偏りは、課題として認識している。
問 自治会任せでなく、市が主体となった防犯灯の新設や維持管理へ制度を見直す考えは。
答 市が一括管理する手法もあるが、市が負担増になる懸念や、これまでの設置・管理の経緯を踏まえると決して容易なことではない。



地域の安心を「見える形」にする防犯灯

総務建設



吉水 志晴
(大阪維新の会)

火災対応について

問 4月20日に発生した石原町の火災では19戸が被災し、瓦礫の一部が私道に倒れた状態である。所有者の特定が難しく建物除却が進まない場合、行政代執行を検討すべきと考えるが、市の見解は。
答 所有者が共同除却に向けて前向きに検討しているため、現時点で行政代執行をする状況にはない。
問 被災後に必要な手続や支援制度を分かりやすくまとめた案内冊子の作成について、市の考えは。
答 他市の事例を参考に、支援内

総務建設



滝井 稔元
(大阪維新の会)

シティプロモーションについて

問 2年3月に策定したシティプロモーション基本方針に基づき、「人情味あふれる! 笑いのたえないまち門真」を将来像として進めているが、同方針策定後、大規模商業施設やカドマドのオープン、まちづくりも進み、DXやAIの発展等もある。シティプロモーションの進め方に変更等はあるのか。
答 方針策定後、社会情勢が大きく変わっており、「まちの将来像」の実現は引き続き目指していくが、そこに至るまでの方法については

容や申請方法、担当課等を整理した、より分かりやすい資料の作成を庁内関係課と連携し、検討する。



北島西・北地区の鉄塔移設計画について

問 鉄塔の移設計画が見直されたと思うが、具体的内容は。
答 移設負担金の当初の見込み額は約3.5億円であったが、隣接鉄塔の強度不足による再設計で、新たに1基鉄塔が必要となり、合計約13億円となった。
問 土地区画整理準備組合の負担が増えることはないのか。
答 追加費用は国・市の負担を予定し、負担増がないよう調整する。

適宜、柔軟に対応している。ターゲットに関しては、若年女性をメインに据え、SNSを用いて本市の魅力等を発信している。
問 8年度開始事業の進捗状況と魅力発信アカウントの現状は。
答 公募市民等で構成される「魅力発信チーム」が取材や撮影を行い、SNSで発信をしている。「魅力発信アカウント」は3か月ほどでフォロワー数が5000人を超え、注目を浴びている。
問 市のイメージ向上には「ブランディング」が必要と考えるが、キャッチコピーなどの必要性は。
答 ロゴやキャッチコピーを検討し、8年度中の策定を目指す。



本会議



豊北 裕子
(日本共産党)

大和田こども園の施設改善を

問 市立上野口保育園と大和田幼稚園の統合園「大和田こども園」が4月に旧大和田幼稚園園舎に整備されたが、新設は子育て支援室と給食棟のみで、トイレや諸室、さびた遊具等は古いまま。なぜ新築でないのか。改修整備の考えは。
答 同園は築48年経過しているが、耐震性能を有した建物で園舎や利用定員の状況等に鑑み既存ストックを効果的に活用し、増築、改修整備とした。今後の整備は引き続き保育に支障があるかどうかに基づき対応していく。

本会議



松本 京子
(公明党)

ローカル10,000プロジェクトの活用について

問 ローカル10,000プロジェクトなどの官民連携制度の活用や周知の考えは。
答 他の交付金を活用しており、同プロジェクトは現在活用していないが、今後市の施策との整合性も含め、活用を検討していく。
問 あわせて、事業者等にも同プロジェクトの周知に努める。
災害被災者支援について
問 市による火災ごみの無料収集

つき対応していく。

危険な国道163号宮前町交差点に歩車分離信号機の設置を
問 8年4月に統合した北果本四宮小学校の児童の通学路「宮前町交差点」は大変危険である。どんな安全対策を講じているのか。
答 交通専従員の配置やカウントダウン式歩行者用信号機への付け替え、一部時間帯の青色点灯時間を6秒延長等を実施している。
問 開校後の課題と対策は。
答 右折車との接触の可能性に懸念があり、門真警察署に対し歩車分離式信号機への変更を要望した。
問 市として歩車分離式信号機の実験を要望すべきと考えるが。
答 現状の効果検証も含め、大阪府警や国が判断するものと考えている。

の考えは。
答 火災で発生する廃棄物は、通常の家庭ごみとは異なり、被災状況によっては建築物の一部崩落や焼損物の散乱等、収集作業を行う上で、安全面への十分な配慮等が必要のため、市による無料収集の実施は、現時点では困難と考える。

防災対策について

問 災害ケースマネジメントの考え方を本市の防災対策に取り入れるべきと考えるが、市の見解は。
答 災害発生時は、被災者の状況に応じた支援を継続的に実施する必要があり、同マネジメントの考え方は有効と考える。また、被災者支援体制の充実を図る中で、同マネジメントの考えを取り入れた支援の在り方を調査研究していく。

本 会 議



岡本 宗城
(公明党)

誰もが移動しやすい
まちづくりについて

問 乗合タクシーは、車両の構造を理由に初めから利用を諦めている乗椅子利用者がいる。この数字には表れない深刻な現状について市の認識は。

答 現在の車両の仕様上、電動車椅子やシルバーカーなどを車内に直接乗せることができず、トラックに収まらない利用者の乗車を断っているが、条件により無料で介助者の同乗ができるなど、一定の配慮は行っている。

文教こども



大倉 基文
(大阪維新の会)

本市の学力向上について

問 7年度に学力向上に向けて取り組んだ具体の内容は。

答 伴走チームによる日常的な授業づくり支援や加賀市との交流視察、年3回の学校公開日を通じた教職員間の学び合いを組織的に実施した。加えて、熊本大学大学院准教授の苦野一徳氏を招いた教育フォーラムの開催等、外部の専門的知見も積極的に取り入れてきた。
その成果は。
答 学校教育診断において、児童・生徒の主體的な学びに関する回

答が過去最高を記録したほか、教員アンケートにおいても授業改善の取組状況が15ポイント向上した。
8年度の具体の取組は。
答 門真市版授業づくりベールシートを改定し、全校でガイダンス研修を実施することで、より質の高い授業を目指していく。また、伴走支援体制をさらに強化するため担当校制を導入し、各学校の実態に即した計画的かつ日常的な授業改善のサポートを徹底していく。あわせて、新たに若手教員向けの研修を実施する。加えて、教育フォーラムの継続開催を通じ、教職員と保護者が共に学び、共通理解を深める場を設けていく。



本 会 議



内海 武寿
(公明党)

子どもの遊び場の確保について

問 ボール遊びができる環境に地域差が生じていると考えるが、解消に向けた市の取組は。

答 ドッジボールなどのボール遊びができる場所を小学校区ごとに確保できるよう、整備計画において検討を進めており、今後も引き続き、子どもたちのびのびと遊べる公園づくりに取り組んでいく。

市営住宅の路駐対策等について

問 消防活動や緊急車両の進入路の確保を含め、市営住宅内の路上

駐車に対する取組は。

答 指定管理者と協力しながら、自治会長等に内容を聞き、現地の確認や状況把握を行い、必要に応じて運輸支局等への所有者の照会等を行っており、所有者が判明した場合には警告文を書面にて送付するなど、路上駐車等の解決を図っている。

問 所有者不明の乗り捨て自転車やバイクなどへの対策は。

答 自治会と連携しつつ、必要に応じて警察への相談等をしている。今後も指定管理者や自治会等と協力し、適切な市営住宅の維持管理に努めていく。



本 会 議



福田 英彦
(日本共産党)

職員の懲戒処分を取り消す地裁判決に市が控訴した件について

問 議会の議決を経ることなく控訴を決定したが、その根拠は。

答 地方自治法第96条において、地方公共団体の行政庁の処分に係る地方公共団体を被告とする訴訟に係るものが除かれており、最高裁の判例において議決が必要ないものとされている。

問 「原告に注意指導を行わないまま懲戒処分に応じたことが信義則に反し裁量権を逸脱・濫用したものとして違法である」との裁判

所の判断が「信義則の適用を誤ったものである」とのことだが、どのように誤っているのか。

答 判決どおり非違行為を不問に付すとなると、市政に対する市民の信頼を著しく損なうことになりかねない。

ホルムズ海峡の緊張による原油・ナフサの価格高騰が及ぼす市民等の影響と市の対応について

問 市は影響を把握しているか。

答 仕入価格の値上がりを警戒し、プラスチックなど在庫確保に奔走していると聞き及んでいる。

問 市独自施策に水道料金の減免を実施すべきと考えるがどうか。

答 7年度に実施したが、効果の実感が得られにくく、一世帯当たりの定額減免という課題がある。

市議会の傍聴にお越しく下さい

令和8年第3回定例会の開催予定 (日程は都合により変更となる場合あり)

と き			内 容
9月	7日(月)	午前10時から	本 会 議
		本会議終了後	決算特別委員会
	9日(水)		総務建設常任委員会
	10日(木)		民生水道常任委員会
	11日(金)	午前10時から	文教こども常任委員会
	25日(金)		本 会 議 (一般質問)
	28日(月)		本 会 議 (一般質問)

傍聴の受付など (誰でも無料で傍聴可能)

	本 会 議	常任委員会
受付時間	開催予定時刻の30分前から	
受付場所	市役所本館 1 階 議場前	市役所本館 4 階 議会事務局
定 員 (先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人

議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供 (先着10人、1人1部) を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

坂本 拓哉（大阪維新の会）

- 1 府道深野南寺方大阪線の歩道整備について

岡本 宗城（公明党）

- 1 誰もが移動しやすいまちづくりについて
- 2 居住支援について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 門真市職員労働組合役員2名への懲戒処分を取り消す大阪地方裁判所の判決に対し、門真市が「控訴」したことについて
- 2 アメリカとイスラエルが始めたイラン戦争で、石油関連製品の原料のナフサが不足し、医療・建設・農業などに影響を与え、仕事・暮らしが深刻な状況となっていることについて

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 大和田こども園の施設整備について
- 2 北巢本四宮小学校の通学路の安全対策、国道163号「宮前町交差点」の信号機を歩車分離信号にすることについて

寺西 敬子（公明党）

- 1 シチズンシップ教育の推進について
- 2 門真市ペット防災ガイドラインの策定について

内海 武寿（公明党）

- 1 北島西・北地区のまちづくりについて
- 2 子どもの遊び場の確保について
- 3 門真市営住宅について

松本 京子（公明党）

- 1 ローカル10,000プロジェクトの活用について
- 2 災害被災者支援について
- 3 防災対策について

片平 恭子（大阪維新の会）

- 1 ふるさと門真まつりについて
- 2 水桜学園について

池田美佐子（公明党）

- 1 ガラスケ号の運行と利用者の利便性向上について
- 2 防犯灯の維持管理と安全なまちづくりについて

大西 康弘（真政会）

- 1 民間保育所等補助事業について
- 2 保健福祉センター大規模改修事業について

池田 治子（真政会）

- 1 市の債務残高について
- 2 中長期財政見通しの公表の延期について
- 3 災害用備蓄について
- 4 砂子水路桜並木の保存継承について
- 5 府道深野南寺方大阪線の拡幅について

深井 弘晃（真政会）

- 1 長時間労働について
- 2 KADOMADOの運営と周辺のまちづくりについて

坂本大次郎（公明党）

- 1 火災における緊急避難先の確保について
- 2 本市における公共施設及び小・中学校の給水環境について

■各常任委員会の所管事項に対する質問の要旨（通告順）

●総務建設常任委員会

吉水 志晴（大阪維新の会）

- 1 北島西・北周辺土地区画整理について
- 2 空き家対策について
- 3 火災対応について

大西 康弘（真政会）

- 1 市道岸和田守口線の門真団地入口交差点について

福田 英彦（日本共産党）

- 1 石原町で発生した火災への対応について
- 2 門真市駅周辺の再開発事業について
- 3 北島西・北周辺地区土地区画整理事業について
- 4 本市へのデータセンターの建設について
- 5 古川橋駅北側のタワマンに対する45億円の助成金支出について

滝井 稔元（大阪維新の会）

- 1 国勢調査及び財政シミュレーションについて
- 2 シティプロモーションについて

岡本 宗城（公明党）

- 1 新別館について

●民生水道常任委員会

豊北 裕子（日本共産党）

- 1 門真市立文化創造図書館について
- 2 門真市プレミアム付デジタル商品券発行事業について
- 3 若年がん患者在宅療養支援事業について

池田美佐子（公明党）

- 1 食品ロス削減について

坂本大次郎（公明党）

- 1 高齢者おでかけ応援事業について
- 2 給水車について
- 3 門真市プレミアム付デジタル商品券について
- 4 門真市立文化創造図書館について
- 5 障がい者就労支援事業所による不正受給問題について

●文教こども常任委員会

松本 京子（公明党）

- 1 幼保小の架け橋期カリキュラムの策定について
- 2 3歳6か月児健康診査について
- 3 5歳児健康診査について
- 4 スクリーニングについて
- 5 門真市の教育について

寺西 敬子（公明党）

- 1 北巢本四宮小学校について
- 2 門真市教育フォーラムについて

大倉 基文（大阪維新の会）

- 1 学力向上事業について

池田 治子（真政会）

- 1 小・中学校における読書環境について



第2回定例会で審議した案件と議決結果			会派名	公 明 党							大阪維新の会							真政会				日本共産党		議決結果
			議員名	寺西敬子	坂本大次郎	池田美佐子	松本京子	後藤 太平	岡本 宗城	内海 武寿	片平 恭子	坂本 拓哉	吉水 志晴	滝井 稔元	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	深井 弘晃	大西 康弘	池田 治子	森 博孝	豊北 裕子	福田 英彦	
議案番号		議案名																						
報 告	報告第2号	令和7年度門真市一般会計繰越明許費繰越計算書について		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第3号	令和7年度門真市水道事業会計予算繰越計算書について		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第4号	令和7年度門真市公共下水道事業会計予算繰越計算書について		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
	報告第5号	令和7年度門真市水道事業会計継続費繰越計算書について		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
条 例	議案第38号	門真市税条例の一部改正について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	門真市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	門真市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び門真市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	議案第41号	門真市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び門真市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	議案第35号	門真市役所庁舎本館非常用発電機設置工事請負契約の一部変更について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第36号	財産の交換について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	動産の取得について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	議案第42号	令和8年度門真市一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	（議長につき、採決に参加なし）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	令和8年度門真市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第56号	令和8年度門真市一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	議案第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第45号	公平委員会委員の選任について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第46号	人権擁護委員候補者の推薦について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第47号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第48号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第49号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第50号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第51号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第52号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第53号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第54号	農業委員会委員の任命について		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提案	議員提出議案第2号	有権者の知る権利を阻害する選挙妨害への対応強化を求める意見書		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	議員提出議案第3号	門真市議会議員定数条例の一部改正について		×	×	×	×		×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	否決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和8年6月1日～7月31日）

- 6・4 議会運営委員会
- 11 本会議（第2回定例会開会）
- 15 総務建設常任委員会
- 16 民生水道常任委員会
- 17 文教こども常任委員会
- 19 議会運営委員会
- 26 議会運営委員会

- 6・26 本会議（第2回定例会閉会）
- 7・6 淀川左岸治水促進期成同盟総会
- 16 守口市門真市消防組合議会臨時会
- 16～17 東部大阪治水対策促進議会協議会他都市視察
- 27 河口市議会議長会
- 29 飯盛霊園組合議会定例会

